

静岡県地域史研究会報

— 静岡県地域史研究会 —

第四十一回総会報告

第四十二回総会及び記念講演は、
去る九月二十三日（土、祝日）午後二時より静岡市葵区のあざれあを会場に開催された。次第は次の通り。

一 総会

- (一) 議長選出
- (二) 会務報告
- (三) 研究誌報告
- (四) 会計報告
- (五) 会計監査報告
- (六) 新年度役員選出
- (七) 新年度の活動方針
- (八) 新年度の予算審議
- (九) その他

二 記念講演

「浜松城下町にみる都市空間の形成と変化－東海道の城下町を地図から考える－」

講師 京都大学教授 山村亜希氏

総会は、森香司氏の司会により始ま

った。小和田折男会長の挨拶の後、議長に望月保宏氏を選出し、右記の次第にしたがつて進められた。議事詳細について

は、後掲の通りである。午後三時から記念講演が行われ、午後五時に散会した。記念講演の要旨は、来年九月刊行する研究誌第十四号に収載する予定である。

二〇二二度会務報告・研究誌報告・会

計報告・会計監査報告

一年間の例会十回で計一一六名（平均十一・六名参加）→昨年度より微

増

- ・例会参加者は、一けたの例会は五回あつた（十二月・一月・二月・三月・五月）。
- ・書評会ができた。（十一月）
- ・卒業論文発表会ができた。（十月、三月）

・県外報告者を依頼できた（五月）

・幹事の報告が少ない。

・会場はなんとか確保できたが、教育会館もなかなか予約が取れない。

・報告者、報告内容によつて参加人数に差が出る。

・報告内容は、中世六、近世六でバランスがとれていた。

・地方史研究協議会との共同開催ができた。

※会計報告・予算等は三・四頁に掲載した。

会報の発行 二四五号～二五〇号、
計六号発行した。

歴史随想

第二四六号 家康の相婿半札郷右衛門 小林輝久彦

第二四七号 『大河ドラマ』に思う

飯尾連龍妻お田鶴の方の虚実 小林輝久彦

森田香司 第二四八号 飯尾連龍妻お田鶴の方の虚実 小林輝久彦
第二四九号 名前（ことば）へのこだわり 太向義明

例会の開催

十月例会

十月三十日

遠江国原田・村櫛荘の半済と半済給人 佐藤公彦氏（専修大学大学院）

十一月例会

沼津市立図書館（二十三名参加）

十一月例会

十一月十三日

小田原近世史研究会編『近世地域史研究の模索』（岩田書院、二〇一二年）

書評者 松本和明氏・杉本寛郎氏

※地方史研究協議会との共同開催

十二月例会

十二月十日

静岡県教育会館（八名参加）

◆一月例会 一月二十八日

あざれあ 4階1会議室（八名参加）

◆二月例会 二月十八日

蒲原宿支配陣屋の変遷－蒲原陣屋から松岡陣屋へ－

書評者 厚地淳司氏

三島市生涯学習センター（八名参加）

三島市三島市文化財

三嶋大社と源頼朝

◆三月例会 三月四日

静岡県教育会館（九名参加）

（卒業論文発表会）

遠江・駿河の狐憑き 野口琴葉氏（静岡文芸大四年）

「百年このかたの」とは間近き「」と

小林輝久彦

— 晩年の今川氏真 —

「今川史料」（広島大学日本史学研究室所蔵）は、明暦三年（一六五七）から寛文元年（一六六一）の間に、今川氏の本家である吉良義冬の次男義叙（よしのり）が分家の東条家を立てるに際して今川範英が作成したものと考えられる。ただし本史料は江戸中期の写本で、原本も案文（下書き）であるとみられる。清書した正文は義叙に与えられたのだろう。本史料の中に範英自身の回顧記録があり、そこに祖父の氏真が登場する。

それは慶長十七年（一六二二）か十八年（一六一三）のことと、徳川家康が鷹狩りのついでに江戸城西の丸で越年した時、範英が十二歳くらいの頃である。

このとき今川氏真は外孫の吉良義弥と直孫の範英を帶同して、しばしば家康にお目見えした。当時の氏真は江戸に居て、義弥と範英を後見していたとみられる。その際、家康は（足利）長氏と義継の時に吉良氏が西条・東条に分かれたことを尋ねた。そして義継の子孫である世田谷（武蔵吉良氏）の蔣田氏（まきた）の家に三河吉良西条氏からたびたび養子に入つたと

聞いているが、それはいつの時代のことかとも尋ねた。

この問い合わせて氏真は、「自分はいま八十歳に近付きます。百年より以降のことは、最近のことですが（百年此方の事ハまちかき事）、一向に養子のことは存じ上げません。ありますことはもちろんです。」と申し上げると、家康も「自分の年齢も八十歳に近くなつてきているのは氏真と同様です。氏真がお聞き及びにないのであれば、きっと間違いなのでしょう。」と落着して終わつたという。そして引き続き、吉良西条氏の吉良満貞とその弟で別家である吉良東条氏を立てた尊義（義貴）のことにも話が及んだと記す。

「当代記」によると、家康は慶長十八年九月十七日に放鷹をするために駿河を立ち、同月二十七日には江戸に到着し、二十八日と二十九日の二日間鷹狩りをしたという。続いて家康は十二月二日に江戸を立ち、駿河に向けて出発したものの、途中で引き返して江戸に戻つて越年したと記すから、範英の記憶とも一致する。

家康は天正十九年（一五九一）に蔣田家当主である氏朝を謁見しているから、三河吉良氏から武蔵吉良氏へ

養子に入つたという話は氏朝から聞いたのである。事実、永禄十年（一五六七）に書写された「吉良系図」（大平家文書）には、三河吉良氏から養子に入ったことが記されているから、家康もそれを踏まえて氏真に聞いたのだろう。

しかし氏真はその事実を否定した。そして家康も氏真に更問い合わせしなかつた。

吉良氏のことも今川氏のことでも、この百年の間のことなら自分は見知っている。氏真のこの言葉に、かつて駿河国の還付を約束して掛川城から氏真を退去させ、ついにその約束を果たすことのなかつた家康としては苦笑するしかなかつたろう。

事務局より

依頼

① 歴史隨想の募集・研究報告の

幸い、報告希望の方が多く、二月までは報告者は決まつています。

三月は卒業論文発表会のため、静岡大や静岡文芸大にお願いします。幹事ならびに報告希望者は小和田会長もしくは事務局森田まで御連絡ください。

事務局連絡先 電話・FAXとも
（〇五三）四四九一五七一
一
森田香司

② 会費納入のお願い

会報に振り替え用紙を

同封しましたので、まだ会費を納入されていらない会員は納入をお願いします。紙数に余裕があつたため、小林氏の歴史随想を入れました。

2022年度支出の部

No.	科 目	本年度予算額	決算額	対前年比	内 訳
1	会場費	39,980	39,690	-290	教育会館7回／沼津市立図書館／ワーキピア磐田
2	例会案内・郵送費	50,000	27,634	-22,366	会報郵送代・葉書・切手等
3	会報印刷費	25,000	7,426	-17,574	インク、コピー代等
4	交通費補助	50,000	20,000	-30,000	7月例会（東京等遠方より）×2
5	会誌編集刊行費	350,000	265,952	-84,048	12号会誌印刷（別冊歴史隨想編含む）・郵送・校正等
6	事務費	15,000	18,893	3,893	コピー・封筒・通信費
7	総会費	180,000	200,504	20,504	会場費、総会資料コピー、講師謝礼等
8	予備費	596,020	0	-596,020	
	合計	1,306,000	580,099	725,901	

2022年度静岡県地域史研究会決算書収入の部

No.	科目	予算額	決算額	対予算比	内訳
1	繰越金	871,742	871,742	0	前年度繰越金
2	会費	424,000	432,000	8,000	総会38名、振込59名、過年度分11名分、合計108名
3	書籍売上	10,000	42,000	32.000	会誌42冊
4	雑収入	258	0	-258	
5	合計	1306.000	1,345,742	39,742	

2023年度予算案支出の部

No.	科目	本年度予算額	前年度予算額	対前年比	内訳
1	会場費	37,230	39,980	-2,750	教育会館4,900×1、39700×5/10月産業経済会館4,850/1月労政会館3,980/2月三島0/6月アクティ浜松4,000
2	例会案内費	50,000	50,000	0	会報郵送・葉書・切手等
3	会報印刷費	25,000	25,000	0	インク・コピー代等
4	交通費補助	50,000	50,000	0	例会交通費(東京等遠方より)10,000×5
5	事務費	15,000	15,000	0	コピー・封筒・通信費等
6	総会費	115,000	180,000	-65,000	会場費、総会資料コピー、講師謝礼、テープ起こし等
7	会誌編集刊行費	200,000	350,000	-150,000	12号会誌(別冊歴史隨想を含む)印刷・郵送・校正等
8	予備費	715,770	596,020	119,750	
	合計	1,208,000	1,306,000	-98,000	

2023年度予算案収入の部

No.	科目	本年度予算額	前年度予算額	対前年比	内訳
1	繰越金	765,643	871,742	-106,099	
2	年会費	432,000	424,000	8,000	4,000×108名(114名—退会者6名)
3	書籍売上	10,000	10,000	0	1,000×10
4	雑収入	357	258	99	
	合計	1,208,000	1,306,000	-98,000	

静岡県地域史研究会報
第251号

2023年11月5日発行

静岡県地域史研究会

会長 小和田哲男

事務局長 森田香司(053)449-5711

会計担当 北村 啓(090)4230-6530

〔会費納入先〕

北村啓気付TE L0904230-6530

郵便振替口座 00880-3-63062

年会費 4000円(次年度より 3000円)

繰越金 765,643円
(会計監査報告)
2023年9月9日 監査の結果、上記の通り相違ない
ことを認めます。会計監査 小川 勝 青木茂久

